

【評価実施概要】

事業所番号	172901688		
法人名	有限会社旭川高齢者グループホーム		
事業所名	グループホーム ほーぷ旭川		
所在地	旭川市永山6条11丁目1-27 (電話) 0166-49-5188		
評価機関名	特定非営利活動法人福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	〒060-0061札幌市中央区南1条西5丁目7愛生館ビル601B		
訪問調査日	平成20年6月11日	評価確定日	平成20年8月22日

【情報提供票より】(20年5月30日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年5月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	15人
職員数	6人	常勤4人, 非常勤2人, 常勤換算3.3人	

(2) 建物概要

建物構造	木造モルタル 造り		
	2階建ての	1~2階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	26,000円	その他の経費(月額)	円
敷金	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	無	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	450円	昼食 450円
	夕食	450円	おやつ 0円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(5月1日現在)

利用者人数	15名	男性 6名	女性 9名
要介護1	5名	要介護2	2名
要介護3	4名	要介護4	3名
要介護5	1名	要支援2	0名
年齢	平均 78.9歳	最低 58歳	最高 91歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	とびさわ呼吸器科・内科医院、腎友会泌尿器科・内科(人工透析)
---------	--------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

高齢者専用住宅を改修したグループホームなので、洗面・トイレ付き居室や共用スペースはゆったりとしており、使い慣れた家具等の持ち込みもあり居住性に富んでいる。閑静な住宅地域に立地して、町内会等の近隣住民との協調も良好で、快適な生活環境が確保されている。全体的に職員構成が若くて活気があり、利用者との密接な関係づくりに努めており、声かけ等の会話も多い。
開設以来4年間の退去者は17名だが、約半数が病状の進行による入院、グループハウスや系列のグループホームへの移動が残りを含め、自宅復帰は少ない。人工透析を受けている利用者も居り、治療食を含めケア体制の確保に努力している。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	勤務体制上の制約から、職員の各種会議が処遇にかかる伝達や確認が中心となっており、また、研修等の体制も十分とはいえず、施設理念を共有し、業務に生かす取り組みについては課題を残している。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回は職員の個別評価を集約して管理者が評価を総括したが、処遇・運営の課題を洗い出すことに主眼を置いた評価となっており、今後のサービスの質向上へのきっかけに外部評価を生かそうという意欲が感じられる。過年度の評価結果は職員詰め所に常設して閲覧可能としている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	所在地の町内会長や居宅介護支援事業所、利用者家族、職員代表を構成として運営推進協議会を設置して、昨年9月から、概ね年4回開催している。会議では施設の運営や処遇、入居希望者の対応方法などについて意見交換や協議をしている外、地区社会福祉協議会の研修への職員派遣や町内会行事への利用者参加などの調整など、活発に運営されている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族の訪問頻度は利用者間の差異が大きく、訪問の少ない家族とはもっぱら電話等によりコミュニケーションを行っている。以前から課題としている施設だよりの発行はまだ着手できていないが、業務の繁忙さの中でも出来る口頭以外の工夫を検討されることが期待される。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	安全配慮から建物内の生活が中心なのが課題となっている。テラスでの日光浴、周辺の散歩やごみ出しなど、玄関前の広い敷地や住宅地域というメリットを生かした更なる工夫が期待される。また、町内会会員として祭り等の行事に参加し、街の理容院の訪問理髪も受けているが、来訪者を増やす工夫やボランティアの協力も得た外出プログラムの検討も期待される。

評価結果(詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者のニーズの充足、尊厳の保持と個人情報の厳守、職員の知識技術の向上の3つを基本理念として、1階と2階の要所に掲示して、周知している。		居室に表札等を掲示しないで、個人情報厳守しているが、利用者の利益との調和の観点から、理念と実際業務への適用について検討することが望ましい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	室内掲示のみで、施設パンフレットなどの配付可能な印刷物には理念の記載が無い。全体会議や各階のユニット会議、会議を通じ共有を図っているとしているが、職員の周知度は十分とはいえない。		印刷物への記載による周知、行動指針等の作成などで業務の中に理念を活かせるよう検討することが望ましい。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	施設として町内会に加入しており、お祭りや敬老会、清掃などの地域行事・活動に参加している。運営推進会議に町内会の参加を得て、施設運営に理解と協力もいただいている。また、職員が講師として地域の研修会などに協力している。		地域行事に企画参加したい、参加できる利用者を増やしたい、もっと日常的な交流を施設の中でも行いたいという職員の強い意向があるので、積極的に取り組まれることを期待する。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員の意見を管理者が総括して評価事業に取り組んでおり、外部評価をきっかけとして、運営・サービスの課題を明らかにして、改善活動を行おうという、積極的な姿勢が見られる。		少し厳しい自己評価をしているが、各種評価活動を業務改善に一層積極的に生かす取り組みに期待する。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>所在地の町内会長や居宅介護支援事業所、利用者家族、職員代表を構成として運営推進協議会を設置して、昨年(H19)より開催している。会議では施設の運営や処遇、入居希望者の対応方法などについて意見交換や協議をしている外、地区社会福祉協議会の研修への職員派遣や町内会行事への利用者参加などの調整など、活発に運営されている。</p>		<p>地域社会や利用者・家族との協調性を確保して、現在の取り組みを一層充実させることを期待する。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市内にはグループホームの連絡組織は無いが、地区を担当する地域包括支援センターを介して、同業者、ケアマネ等関係事業所、行政や関係機関との連携を図っている</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>昨年(H19)に「施設便り」の発行を計画していたが、業務体制の問題から、発行できていない。利用者の普段の生活や預かり金の出納報告などは、家族の来訪時に説明し、あるいは電話などにより行っている。</p>		<p>「施設便り」の発行が急がれるが、手紙や写真送付など、口頭報告のみで無く、家族とのコミュニケーションを密にする工夫を検討することを期待する。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>施設行事に合わせて家族との連携を図っている。また、目安箱を施設に配置したり、意見聴取の機会を確保しようとしており、意見・クレームは書面で記録し、組織的に対応している。</p>		<p>家族会を定期的で開催して意見交換することを検討しているので積極的な取り組みに期待するとともに、合わせて、家族アンケートのような工夫をして、来訪できない家族との連携方法を検討することが望ましい。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の利用者担当せいを設けており、職員の異動があったときには、電話等により家族に報告している。</p>		<p>変更があったときの連絡という観点をもう少し発展させて、普段の施設の取り組みを「便り」などの書面で、定期的にお伝えするなど、更に工夫されることに期待する。</p>
5. 人材の育成と支援					

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>新人職員のオリエンテーション、計画を立てた外部研修への参加を図っているが、業務体制上の制約から、施設内の各種会議での実務的な職場研修や自己研鑽が中心となっている。</p>		<p>職員の自己研鑽の目標を明確にさせて、業務に密着させて目標の達成を支援することを予定されているので、着実な取り組みに期待する。また、各種業務マニュアルの整備やカンファレンスの有効活用などの活用を検討されることが望ましい。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>月1回、地区の地域包括支援センターの業務打ち合わせや研修の機会を活用している。</p>		
<p>・安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>職員の利用者担当制により、コミュニケーションの緻密化を図っている。なじみの家具や調度品を自室に持ち込むなど、なじみの環境の整備にも配慮している。</p>		
<p>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</p>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>業務に追われて職員主導のケアになりがちとの反省をして、カンファレンスなどを徹底したいとしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員の利用者担当制により、コミュニケーションの緻密化を図り、本りんと意思疎通が難しい場合は、家族との連携に配慮している。</p>		<p>業務日誌やケア記録が丁寧にされているが、バイタルやケアサービスを中心とした記録なので、生活の変化、本人の関心事、利用者同士の関係などの生活情報に着目したアセスメントやモニタリングの工夫などを検討することが望ましい。</p>
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>管理者と職員が合議しケアプランを作成し、カンファレンスを徹底して、チームとしての取り組みの強化を図っている。</p>		<p>業務記録とカンファレンスを効果的に組み合わせ、チームアプローチの実効性を一層高まることに期待する。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>管理者と職員が合議してケアプランの見直しを行っている。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>通院介助への同行、買い物などの外出支援など、要望に可能な限りこたえられるよう、努力されている。</p>		<p>お寿司屋さんでの外食なども企画されており、施設サービスの工夫を一層積極的に取り組むことに期待する。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用者の人工透析の支援も行っており、治療食など施設ケアとの連携もされている。近隣の協力医療機関とは、施設生活の記録の提供など、旅行名関係を確保している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>これまで施設で再起を迎えられた利用者は居らず、特に、指針は定めていない。</p>		<p>利用者・家族と十分なコミュニケーションをとって、検討される事が期待されるが、終末期の前の重度化に対するケア対応の可能性を広げる検討についても必要とされる。</p>
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者の居室に表札等を掲示しないなど、個人情報の取り扱いを厳守している</p>		<p>利用者の利益との調和の観点から、プライバシー保護の理念の実際業務への適用について検討することが望ましい。</p>
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>可能な限り職員体制を工夫して、外出希望などに対応できるよう、努力している。</p>		<p>業務日誌やケア記録が丁寧にされているが、バイタルやケアサービスを中心とした記録なので、生活の変化、本人の関心事、利用者同士の関係などの生活情報に着目したアセスメントやモニタリングの工夫などを検討することが望ましい。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食器など利用者の使い勝手に配慮しており、職員も一緒に食事しながらケアをするなど、家庭の生活に近づけようと、積極的な取り組みをしている。配下膳も職員が助け合っ て行き、業務体制の効率化を図っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	火曜、金曜の週2回の入浴日を設け、午前・午後に利用者の都合に配慮して実施している。		旭川の夏は寒暖の差が激しいので、過ごしやすさや清潔などにも配慮して、シャワー浴など、随時の体制作りを検討されることが望ましい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家族との連携して生活歴などの把握を行って、潤いのある穏やかな生活を実現することが出来るよう、アセスメントやモニタリング方法も改善するなど、取り組みを始めている。		安全配慮から建物内の生活が中心なのが課題となっている。テラスでの日光浴、周辺の散歩やごみ出しなど、玄関前の広い敷地や住宅地域というメリットを生かした更なる工夫が期待される。
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	週に一度は近所の散歩を企画したり、買い物、郵便局での手紙出しなど、業務体制を工夫して希望にこたえられるよう努力している。		町内会会員として祭り等の行事に参加し、街の理容院の訪問理髪も受けているが、地域行事に企画参加したり、外部からの来訪者を増やす工夫、ボランティアの協力も得た外出プログラムの検討も期待される。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけることが拘束であることは職員全員が理解しており、昼間は玄関は鍵を掛けずにセンサー対応とし、夜間のみ施錠としている。		身体拘束廃止委員会の設置予定もあるので、普段のケア業務において、サービスの質向上につながるような取り組みと連携することが望ましい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>緊急時の地域の支援などは町内会を通じて呼びかけており、職員の緊急対応のルールを定めて施設の体制づくりをしている。</p>		<p>年2回の施設防災訓練に地域の参加を求める企画があるので、緊急時に施設が地域を支援することも含めて、地域連携を一層強化されることに期待する。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養士が利用者に合わせて食事プランを立てているが、日常的にケアにおいて水分摂取の取り組みを課題として改善に取り組んでいる。</p>		<p>職員理解を促進する研修や各種ケア会議を通じ、水分補給にとどまらず食中毒や感染予防の観点からも、一層のケア改善に取り組まれることに期待する。</p>
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室によっては陽差しが強区、カーテンの開け閉めに配慮したり、廊下の電灯が赤外線反応の自動点灯で利用者が戸惑うこともあるので手動点灯への切り替えなどの改善を図っている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人・家族から入居前の自家からの家具・調度品の持込を促しているが、利用者の個人が大きく、殺風景な居室に潤いを与えられるよう家具・調度品の配置、家族の写真の掲示など、本人を支援している</p>		<p>利用者個々に配慮した取り組みの継続に期待する。</p>

 は、重点項目。